

ピラミーデ(ピラミッド・メソッド)の乳児研究が飛躍的に進んでいます。

オランダ人の乳児を育てている幾組かの家庭との契約と、ドイツで急激に増え始めたK I T A (全日制保育園)での調査を通して、ピラミーデ(ピラミッド・メソッド)は、新しい乳児保育の研究を始めています。今後の日本の保育でも関心が持たれる分野だけに、情報が手に入り次第お知らせします。

連載

新生児のリズム崩れが情緒の始まり 1

### しゃべらない乳児の気持ち理解する

乳児はしゃべりませんが、何を感じ、何を見ているのか、多く研究者は見えない乳児の気持ちを探ろうとしています。

しかし、見えない気持ちや感じ方、時には考えていることを知る方法はあるのでしょうか？  
見えない乳児の気持ちを研究する方法は、環境との相互関係で引き起こされる乳児の行動を観察する、現代の新しい心理学の取り組み「動的心理学」を使っています。

しばしば、保育研修会で乳児の気持ちを発表される場合があります。きめ細かな丁寧な発表であることは誰もが認めるのですが、発表者は見えない乳児の気持ちをどのようにして推し量ったのでしょうか？

多分、保育者自身が感じたことを、乳児の気持ちとして代弁しているようです。科学的ではありません。あまりにも主観的ですが、保育現場ではこの保育者自身の主観的な観察を、子どもの気持ち理解としてまかり通っています。

保育が科学的であるために、見える保育、すなわち「子どもの行動研究が重要です。

新生児の誕生数時間から2ヶ月過ぎまでの観察です。無表情な顔面から次第に顔面緊張が取れて皮膚反応が起こります。

**無表情な緊張状態で生まれてきます。**



誕生直後

スイス 元チューリッヒ大学 医学部精神科 ヘルツカー教授提供

眠ったような顔にゆるみが出ます。顔面の皮膚がおおよそ30秒ごとにピックと動きます



誕生時は表情のない  
眠った状態

そして、顔面の反応が30秒ごとに1回から、20秒ごとに1回、そしてその正しいリズムが崩れ始めて、20秒に1回、15秒に1回です。

数日すると顔全体にやわらか表情が出てきます。顔面の皮膚がおおよそ20秒に一回ピックと皮膚反応が起こります。



数日で安らぎの表情が出る

このリズムが崩れ始めると、次に3ヶ月スマイルが現れます。

リズム正しく動いていた顔面の皮膚反応のリズムが崩れだし、時々、微笑みのような反応が出ます



睡眠中に時々見せる微笑

(注:写真は元チューリッヒ大学医学部精神科教授ハインツ・ヘルツカー先生より提供されています。私が先生の著書を日本語に翻訳したご縁での交流です。)